

岩手県盛岡市方言の待遇表現

本堂 寛

I. はじめに

1. 調査対象地：岩手県盛岡市は、岩手県の県庁所在地で、県のほぼ中央に位置する、人口約28万人の中都市である。かつての城下町であり大きな産業もないため、やや保守的閉鎖的な傾向があり、今も方言による言語生活がかなり行われている。近隣の地域の人々は盛岡で買い物をする人が多いので、盛岡方言が広域に使われている。
2. 調査年月日：1997年1月3日 午後2時15分～4時10分
3. 教示者：大崎和子 昭和2年12月24日生（69歳）
4. 調査者・調査場所：本堂 寛、話者宅
5. 調査方法：統一調査票による質問調査
6. 表記方法：①ワープロの打ち込みの関係で、アクセントは下線で示す。
②話者のコメントは（ ）で、調査者の解説は〔 〕で、それぞれ示す。

II. 調査結果

1. 尊敬表現

1-1 対者敬語

- (1) A お前は オメア ハン/アンタ（アンタは、やや上品な女性的な言い方）〔係助詞「は」に対応する言い方は省かれるのが普通である。このことは、以下全て同じである〕
元気かね ゲンキスカ/ゲンキダスカ/ゲンキ（スカは丁寧的な言い方であり、女性的でもある）
- B お前は オクサン/オメア サン〔オクサンは「奥さん」である〕
元気かね オゲンキダスカ
- C お前は アナダ
元気かね オゲンキデオデンスカ
- (2) A あしたは家に居るか アシタ ウジサ イルスカ
B あしたは家に居るか アシタ ウジサ、オデンスカ
C あしたは家に居るか アシタ ウジサ、オデンスカ〔Bのオデンスカもオデンスカを原形にしているが、Bの言い方の場合、ややくだけた言い方になったものである〕

- (3) A あした行くか アシタ イグスカ
 B あした行きますか アシタ イギヤンスカ
 C あした行きますか アシタ オデンススカ/オデルスカ (どちらも同じように使う)
- (4) A 温泉に行かないか オンセンサ イガネスカ (男性の言い方であればイガネガとなる)
 B 温泉に行かれませんか オンセンサ オデンスカ
 C 温泉に行かれませんか オンセンサ オデネガンスカ
- (5) A しますか シアンスカ
 B されますか ミサンスカ
- (6) A 見ましたか ミアンシタガ
 B 見ましたか オミレッタスカ/オミレンシタガ
- (7) A ゆうべは何時に寝ましたか ユソ ベ ナンジニ ネアンシタガ
 B ゆうべは何時に寝ましたか ユソ ベ ナンジニ オネレッタノスカ/オヨレッタノスカ (オヨレッタはかなり古い言い方で、今はほとんど使われない)
 C 寝てください ヤスンデクダサイ/ネデクナンシエ/オネレッテクナンシエ (看護婦さんは共通語を使うのが普通なので、ネデクナンシエ / オネレッテクナンシエ は極めて稀であり、この二つの言い方のうちオネレッテクナンシエの方が敬意が高い) [Cの質問項目は、A・Bとは異質であって、ここに置かれた理由が理解できない]
- (8) A どこに行っているか ドゴサ イッテルエン
 B どこに行っているか ドゴサ イッテルノスカ
 C どこに行っているか ドゴサ オッデッテルノスカ
- (9) A どうぞ食べてくれ タベデ/タベデケデ (「どうぞ」にあたる言い方をしないのが普通である)
 B どうぞ食べてください マソ ツ タベデクナンシエ
 C どうぞ食べてください マソ ツ オダベッテクナンシエ/マソ ツ オアゲッテクナンシエ (オアゲッテクナンシエの方が敬意が高い)
- (10) A その写真を私に見せてくれないか ソノ シャシン オラサモ ミシエデクレネッカ/ソノ シャシン オラサモ ミシエデ/ソノ シャシン オラサモ ミシエデケデ (ミシエデケデのケデは「くれて」の省略形)
 B その写真を私に見せてくださいますか ソノ シャシン オラサモ ミシエデクナンシエ
 C その写真を私に見せてくださいますか ソノ シャシン ワダシニモ オミシエッテクナンシエ (改まると「わたし」の形で言うようになる)

1-2 第三者敬語

- (11) A あしたは家にいるだろう アシタ ウジサ イルゴツタ
B あしたは家にいるだろう アシタ ウジサ イルガモシレネ
C あしたは家におられるでしょう アシタ ウジサ オデルゴツタ／オデルガモシレネ (どちらも同じように使う)
- (12) A 居なかった イネア ガツタ
B 居なかった オデネア ガツタ
C 居なかった オデネア ガツタ (AとBとの区別はない)
- (13) A そう言った ソワツテラツケ／ソワツテオデツタツケ (ソワツテオデツタツケの方が丁寧)
B そう言った ソワツテオデツタツケ
- (14) A 今そこに行っていた イマ ソゴサ イツテラツケ
B 今そこに行っておられた イマ ソゴサ イツテオデツテラツケ
C 今そこに行っておられた イマ ソゴサ イツテオデツテラツケ
- (15) A 来ている キテラオソヤ
B 来ている オデツテラオソヤ
C 来ている オデツテアンスオソヤ
- (16) A 仕事をしている カセソ デラオソヤ (質問項目の意味が不明瞭) (同じ)
B 仕事をしている カセソ デオデンスオソヤ (質問項目の意味が不明瞭) (同じ)
- (17) A 見せてもらった ミシエデモラツタオソヤ
B 見せてもらった ミシエデイダダイダオソヤ
C 見せてもらった ミシエデイダダイダオソヤ
- (18) A 見せてくれた ミシエデケダオソヤ
B 見せてくれた ミシエデクナハツタオソヤ
C 見せてくれた ミシエデクナハツタオソヤ／オミシエツテクナハツタオソヤ (オミシエツテクナハツタオソヤの方が敬意が高い)
- (19) A 私にくださった オラサ クナハリアンシタオソヤ
B 私にくださった オラサ オグレットクナハリアンシタオソヤ
- (20) A いただいた イダダイダオソヤ
B いただいた イダダイダ／チョーダイシタオソヤ (チョーダイシタの方が敬意が高い)

2 謙譲表現

2-1 謙譲表現

- (21) A 私も オラモ
 B 私も オラモ
 C 私も ワダシモ
- (22) A 十分に食べました イッペア タベアンシタ / イッペア イダダギアンシタ (イ
 ダダギアンシタの方が敬意が高い)
 B 十分に食べました イッペア イダダギアンシタ
- (23) A 持ちましょう モツテアゲアンス
 B 持ちましょう オモジシアンス
- (24) A 待たせたね マダセデ ゴメンヤ
 B 待たせたね オマダセシアンシタ
 C 待たせたね オマダセシアンシタ
- (25) A 駅で待っているよ エギデ マツテルガラ
 B 駅で待っていますよ エギデ マツテイアンス
 C 駅で待っていますよ エギデ オマジシテアンス
- (26) A 言ってくれ ソツテケデ
 B 言ってくれ ユツテクナンシエ (ユツテの部分をもソツテと言うこともあるが、
 ややくだけた言い方になる)
 C 言ってくれ ユツテオグレツテクナンシエ
- (27) A これをやろう コイズ ケル / コイズ ケデセル (どちらも同じように使う)
 B これをあげましょう コイズ アゲヤンス
 C これをあげましょう コイズ サシアゲヤンス

2-2 身内敬語

- (28) A 買ってやった カツテヤッタ
 B 買ってやった カツテヤリアンシタ
 C 買ってやった カツテヤリアンシタオソ ヤ (オソ ヤに相手を高めた意識が込め
 られる)
- (29) A 主人はもう帰っている オラホデハ(ha) モハ(moha) ケアツテアンス [オラ
 ホは「おれ(私)の方」の意味である]
 B 主人はもう帰っています オラホデハ(ha) モハ(moha) ケアツテオリアンス

3 丁寧表現

- (30) A 行くよ イグヨ
 B 行きます イギアンス
- (31) A 寒いね サムネ / サム / サムナハン (若い女性の場合は、古くサムナハンを最

も多く使った。男性はサムネの代わりにサムナという)

B 寒いね サムナッス

C 寒いですね サムガンズナッス/オサムガンズナッス/オサムゴザンズナッス
(サムガンズナッスよりオサムガンズナッスの方が敬意が上になり、オサム
ガンズナッスよりオサムゴザンズナッスが敬意が上になる)

(32) A 居るよ イルヨ

B 居るよ オリアンス/イアンス (オリアンスの方が多い)

(33) A よかったねえ イガッタナハン

B よかったですねえ イガッタナッス

C よかったですねえ ヨゴザンシタナッス

(34) A そうか ンダ (疑問的な「そうか」であればンダスカとなる) (ンダは
はンダの繰り返し形。「うなずく」のだから、共通語「そうか」はやや不自
然)

B そうですか ソ ダ (ンダとも言うが、やや敬意度が低くなる)

C そうですか ソ (ンデとも言うが、やや敬意度が低くなる。最も古くは、ソ
が最上敬意表現として使われたが、今は全く用いられない)

4 人間関係に応じた待遇表現

4-1 特定表現の待遇表現

(35) その角を曲がって右へ行くと～ ソノ カド マガッテガラ ミギサ イグド～ (マ
ガッテモラッテ～の言い方はない)

(36) とんでもない ンデネ / ンデナ (トンデモゴザイマセンの言い方はない)

4-2 多人数場面の待遇表現

(37) オヒギウゲイ ダシ アンス

(38) コンド ノ リョコーニ カダ ルヒト スグ ネ ノ ダシ ミンナ カダ ヲ ツ ク ナンシエ

4-3 位相による待遇表現

	相手	あいさつ	どこに行くのか
1	お寺の住職さん	オハヨガンズ	ドゴサ オデンスカ
2	校長先生	オハヨゴザンズ	ドチラサ オデンス

3	見知らぬ年配の男性	オハヨゴザンス	ドゴサ オデンスカ
4	見知らぬ年配の女性	オハヨゴザンス	ドゴサ オデンスカ
5	顔見知りの年上の男性	オハヨゴザンス	ドチラニ オデンスカ
6	顔見知りの年上の女性	オハヨガンス	ドゴサ オデンス
7	10歳ほど年下の見知らぬ男性	オハヨガンス	ドゴサ イグノスカ
8	10歳ほど年下の見知らぬ女性	オハヨガンス	ドゴサ イグノスカ
9	同級生の男性	オハヨガンス	ドッチサ イグノスカ
10	同級生の女性	オハヨガンス	ドチラサ オデンス
11	10歳ほど年下の顔見知りの男性	オハヨゴザンス	ドゴサ イグノスカ
12	10歳ほど年下の顔見知りの女性	オハヨゴザンス	ドチラサ イグノ
13	近所の中学生の男の子	オハヨ	ドゴサ イグノ
14	近所の中学生の女の子	オハヨ	ドゴサ イグエソ

(見知らぬ人に声をかけることはないし、ましてや、挨拶や行き先を尋ねることをしたことはない)

Ⅲ. 総括 (まとめ)

1. 敬語体系がかなり整然としている項目と、単純な項目がある。これは、元々の盛岡方言がそうなのか、共通語の影響なのか、今後の調査課題である。
2. 1 と関係するが、商家の女性も調査しそれとの対比も興味ある記述になろう。
3. 待遇表現に共通語の影響が顕著になりつつある現在、この調査結果は貴重な資料になろう。

(ほんどう ひろし 青山学院大学)